

人間を救うのは、人間だ。

水の事故から いのちを守る!

コロナ下でも夏休みシーズンは、
海や川で水遊びをする機会が増える季節。
気をつけたいのが、水の事故です。
日本赤十字社では、水上安全法講習を通して、
水の事故からいのちを守る知識と技術を広めています。



コロナ下でも水の事故からいのちを守る正しい知識を！

海や川に恵まれた静岡県では、毎年水の事故が発生しています。静岡県支部では、水の事故を未然に防ぐための活動の一つとして、小・中学生を対象に「着衣泳」や「水に入らないレスキュー※」講習を開催しています。令和3年度は、県内で29の小・中学校で約2,150人の児童・生徒に向けて、水の事故からいのちを守る知識や技術を伝えます。危険は、子どもたちはもちろん大人にも。講習の中で伝えている大切なポイントを紹介します。

※屋内でプールや海、川の危険なポイントについて学ぶとともに、水の事故が起きてしまったときに、水に入らず陸上から救助する方法を学ぶ講習。



01 水の事故にあわないために

水遊びのときはライフジャケットの着用を



- ☑ 子ども一人で水遊びに行かせない
- ☑ 事前に気象、海象情報を確認する
- ☑ ライフジャケット(救命胴衣)を身につける
※ライフジャケットは、体を水に浮かせ、体温を保ち、ぶつかったときのショックをやわらげます。釣りや水辺で遊ぶときは、必ず身につけましょう。
- ☑ 子どもの健康状態を確認し、普段と違う状態のときは水遊びに行かせない

POINT

子どもの水の事故で多いのが、海や川、池での水遊びです。水遊びに一人で行ったり、危険なことをしないのはもちろんですが、“もしものとき”の備えも大切です。

例えば、事前に気象、海象情報を確認して、天気の変化や海の状況を把握したり、ライフジャケットを着用すること。また、普段と違う健康状態のときは水遊びに行かせない(行かない)ことも、水の事故にあわないために大切なポイントです。

02 もしも服を着たまま水に落ちたら…?

まずは水に浮くこと！

静岡県内で令和2年に水の事故にあった人の7割以上が、服を着た状態でした※。それは、衣服が泳ぎの邪魔になることはもちろん、突発的な出来事にパニックを起こし、普段は泳げる人でも溺れてしまうことがあるからです。服を着たまま水に落ちてしまったときは、あわてずまず「浮く」ことが大切です。水に落ちたとき、いのちを落とさないために、次のポイントを守り冷静に対処しましょう。

※静岡県警察本部調べ

顔(目線)は真上に向ける

力をぬいて、両うでを伸ばした姿勢

空気をいっぱい吸い込み、少しずつ呼吸する

浮き身の姿勢

- ☑ 仰向けで浮いた姿勢を保つ
- ☑ 泳いで移動しない(基本は浮いて救助を待つ)
- ☑ 服と靴は脱がない

※服は浮力の助けになり、浮遊物による外傷防止と保温効果があります。(靴も浮くことの助けになることが多いので、履いたままで◎)

POINT

03 目の前で誰かが溺れたら…?

陸上から物を用いて救助を！

大切な家族や身近な人が溺れたとき、救助するために水の中に飛び込んでしまうことは、二次事故につながり、とても危険です。すぐに119番通報し、協力者を呼びましょう。救助は一人よりも複数で、水の中に入らず陸上から身近な物を用いた方が安全です。

- 溺れた人に声をかけ(「もうすぐ助けが来る」など)、落ち着かせる
- 浮き身を指示し、励ます

- 自分のシャツやズボンを差し出す

- 長い棒を差し出す

- 浮き具の代わりになる物を渡す
(例)
・ペットボトル
・バッグ(ランドセル)
・サッカーボール など

POINT

- ☑ 原則として、水の中に入って助けない
- ☑ すぐに119番通報する(してもらおう)
- ☑ 大きな声で協力者を呼ぶ



具体的な救助の方法

牧之原市突風被害における対応

令和3年5月1日夜に発生した竜巻とみられる突風により被災されたみなさまに、心からお見舞い申し上げます。

日本赤十字社静岡県支部では、多数の家屋が損壊するなどの被害が発生した牧之原市地区に対し、以下の災害救援品を翌2日に届けました。

これらの災害救援品は、みなさまからお寄せいただく赤十字活動資金によって整備し、災害時に迅速に配付できるよう備蓄しています。みなさまのご協力が、赤十字の災害救護活動を支えています。

- 毛布 40枚
- 緊急セット 12セット
- 下着セット(男性用・女性用) ... 各40セット
- タオルセット 40セット
- ブルーシート 30枚



PRESENT!

ハートラちゃん「ハンカチタオル」を30名様にプレゼント!

以下を明記の上、WEB・メール・郵送でご応募ください。

- ①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③年齢 ④赤十字しずおかVol.129のご意見・ご感想
- ⑤赤十字しずおかで、今後取り上げてほしい情報

※回覧でご覧いただいた方には、本号を郵送します。ご希望の方は①②を明記の上、「Vol.129希望」とお書きください。
 なお、プレゼントのご応募と同時に申し込みいただく場合は、①～⑤を明記の上、応募締切日必着をお願いします。

応募方法

WEB



メール



郵送

〒420-0853
 静岡市葵区追手町44-17
 日本赤十字社静岡県支部 組織振興課

koho@shizuoka.jrc.or.jp

応募締切

令和3年10月29日(金)必着
 当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



※「ハンカチタオル」の色は選べません。

※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の保有する個人情報保護規程に則り取り扱います。



日本赤十字社

静岡県支部

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17
 TEL 054-252-8131 <https://www.jrc.or.jp/chapter/shizuoka/>



この印刷物は、みなさまからいただいた資金で作っています。